

## 電気電子部会 第 139 回研修会

1. 日 時：平成 22 年 5 月 11 日（火） PM3:00～PM5:00
2. 場 所：株式会社 ダイヘン 六甲事業所
3. 参 加 者：24 名

1919 年に大阪変圧器として、柱上変圧器の大量生産を行う企業として大阪府中津町で創立し、現在では電力機器事業、溶接機・メカトロ事業、半導体機器事業と幅広い事業を展開しており、海外にも 9 拠点（アメリカ、ドイツ、中国、タイ、台湾、韓国）に進出し、アジアに向けての商品が多く製造されている株式会社 ダイヘン 六甲事業所を見学した。

この六甲事業所は、六甲アイランド内に建設され、2007 年 10 月に竣工した溶接機・メカトロ分野を手がける事業所であり、溶接ロボット、ロボットコントローラー、ポジショナー、スポット溶接機、特殊抵抗溶接装置などの生産を行っている。

この事業所は、大きく分けて 4 棟（ゾーン A からゾーン D）の建屋で構成されている。

（生産）

ゾーン A・・・製品用部品の製造・加工

ゾーン B・・・ロボットの組立・試運転

ゾーン D・・・物流倉庫

（事務所・研修）

ゾーン C・・・事務営業エリア・FA センター・溶接スクール

ゾーン A ではマシニングシステムが導入されており、一度セッティングを行うと無人で次々と自動加工を行うものであった。一方では六甲事業所以前十三工場から移設してきたといわれる年代物の加工機も稼動しており、いかにも高等技能者と思われる職人さんが手作業で一つ一つ丁寧に部品加工を行われている姿も見ることが出来た。

ゾーン B では毎朝組立を行ったロボットの試運転を夕方から翌朝にかけて夜間無人で行われているそうです。安全対策の万全に行われており、ロボットの動作範囲は柵により囲まれている。柵の開閉はピンによりロックされており、このピンを抜くことで安全装置が働きロボットが停止する仕組みになっていた。出荷後様々な会社に設置された場合も、事業所での試運転同様安全にロボットが動作できることを確認することが出来る。

ゾーン C では内部見学は出来なかったが広々として事務エリアが上階に設けられており、下階には FA センターや溶接スクールを行う施設が設けられており、見学させて頂いた当日も、手動溶接機やロボット溶接機のスクール生が受講されており、その場へもお邪魔させて頂きました。メーカーとして“製品の作りっぱなし”ではなく、顧客（購入会社の従業員の方々）の安全性に対して十分な配慮・検討を行っていることがこういったところからも感じ取れる部分であったと思う。

ゾーン D では自動ラック及び一般ラックが設置されており、下層階には大型商品、上層階には小物商品が出荷待ちしている状態であった。

最後になりましたが、今回の見学研修をお受け頂きました株式会社 ダイヘン 六甲事業所様、その他の関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。

（新川 雅也 記）